

平成29年3月 京田辺市議会 文教福祉常任委員会 所管事務調査
不登校問題について 報告

文教福祉常任委員会では、平成28年3月議会より「不登校問題について」をテーマとした所管事務調査を実施してまいりました。

平成28年3月議会から同年12月議会にかけて、委員間での討議と執行部への質疑を行ってきました。

執行部への質疑では、京田辺市の小中学校における不登校の現状や、不登校対策の一つである「ポットラック」の現状などがとり上げられました。

執行部からは平成28年度1学期の不登校（10日以上欠席）は小学校13人、中学校63人、ポットラックの利用はおおよそ15名との報告がありました。原因にはいろいろなことがあり一人一人に対応して取り組んでいくとのことであり、また不登校の出現率は全国平均より高く大きな課題であると認識している旨の答弁がありました。

委員間討議では「不登校」をどのようにとらえるかで議論がありました。「学校に戻すための取り組みが重要ではないか」という意見や「個別的な部分が多い問題であり、議会として取り組むべきなのか」「不登校には色々なケースがあり、個人としてどうにも出来ない問題もある」「問題解決のために多様なアプローチをしていくことも重要ではないか」などの意見が出された他、「実態をもう少し知る必要がある」などの意見が出されました。

今後、議員各自においてこれらの取り組みを活かしていくこととして、「不登校問題について」の所管事務調査のまとめといたします。